

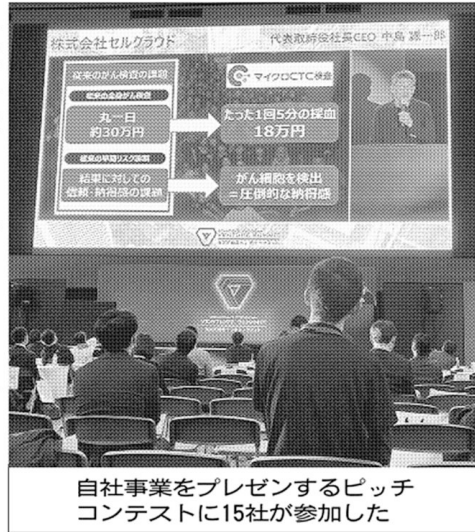
新宿で新興交流2000人参加

住友不動産は24日、スタートアップ企業の事業コンペや事業展示を行う交流イベント「住友不動産ベンチャーサミット」を開いた。

s（リーナーテクノロジーズ、東京・品川）が優勝企業に選ばれたほか、準優勝ピッチコンテストや関係者のトークイベントのほか、商談や展示を行うブースを設けた。スタートアップ関係者やベンチャーキャピタル

(VC)、一般企業などの約2000人が参加した。新宿住友ビル（東京・新宿）の屋内広場で初めて開催した。中央のステージでスタートアップ130社以上から選ばれた15社がピッチコンテストに参加した。購買・調達クラウドサービスを手がけるLeaner Technology

企業展示ブースに115社が出展したほか、44の商談ブースを設けてスタートアップ各社やVC、一般企業が商談を行った。開会に当たり、日本ベンチャーキャピタル協会の田島聡一会長が登壇し「ベンチャーキャピタルの資金供給力や人材の流動性も高まっており、中長期の成長の伸びし



るが極めて大きい」と、スタートアップ向けオフィスブランドを立ち上げた。渋谷など東京都心部3カ所ですタートアップ100社程度が利用している。2024年春までに東京都心部で

住友不、大企業とつなぐ

7カ所、関西圏で2カ所、渋谷（桜丘口地区）で11月完計9カ所に拡大する。この育成エリアを設け、米マサチューセッツ工科大学（MIT）と共同でディープテック（先端技術）分野の新興企業向け育成プログラムを提供する。平和不動産は創業間もないスタートアップ企業の交流拠点を日本橋兜町・茅場町エリアに開設した。

住友不動産は展開する賃貸オフィスの入居企業約1800社のうち、1割程度をスタートアップが占める。自社物件に入居するスタートアップや大手企業の事業拡大を通じて自社の賃貸オフィスの相乗効果を見込む。

24日に実施されたイベントのピッチコンテストで審査員を務めたグロービス・キャピタル・パートナーズの湯浅エムレ秀和氏は「既存の大企業とスタートアップをつなぎ、日本型のイノベーションにつながる」と（東京・港）に、VC70社不動産大手が支援に取り組む意義を語った。

（田村 修吾）